

3 愛媛県のイメージ

問22 現在の愛媛県のイメージ

あなたの考える愛媛県はどんなところですか。あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

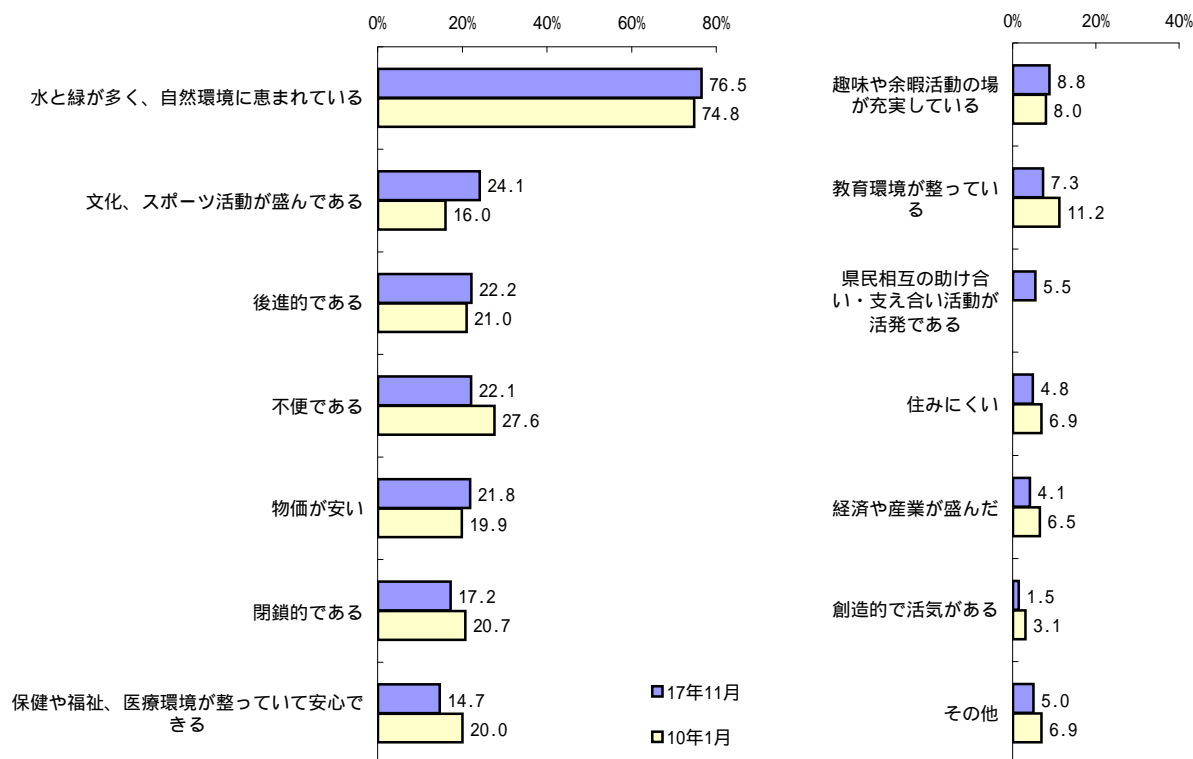
(複数回答) (%)

1	水と緑が多く、自然環境に恵まれている	76.5
2	物価が安い	21.8
3	経済や産業が盛んである	4.1
4	教育環境が整っている	7.3
5	保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる	14.7
6	趣味や余暇活動の場が充実している	8.8
7	文化、スポーツ活動が盛んである	24.1
8	創造的で活気がある	1.5
9	県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である。	5.5
10	後進的である	22.2
11	住みにくい	4.8
12	閉鎖的である	17.2
13	不便である	22.1
14	その他	5.0

(「9 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である。」は今回調査から)

愛媛県はどんなところかイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が76.5%と特に高く、以下「文化、スポーツ活動が盛んである」(24.1%)、「後進的である」(22.2%)、「不便である」(22.1%)、「物価が安い」(21.8%)、「閉鎖的である」(17.2%)などの順となっている。

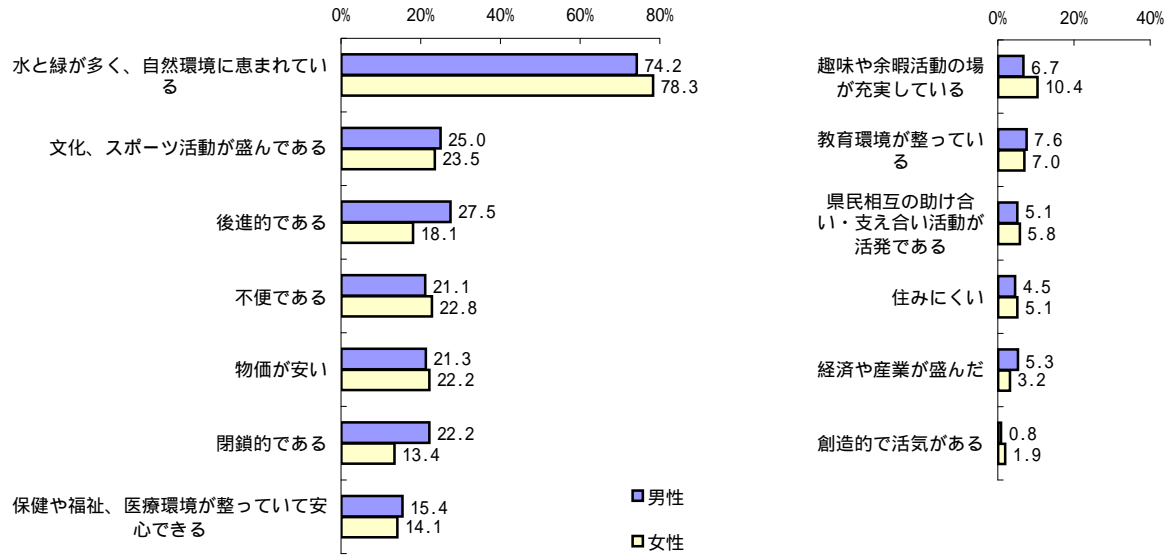
7年前(平成10年)の調査と比べると、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「後進的である」、「物価が安い」、「趣味や余暇活動の場が充実している」と答えた人の割合が増加し、それ以外は減少している。



【性別】

性別にみると、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が、男性（74.2%）、女性（78.3%）ともに特に高くなっている。

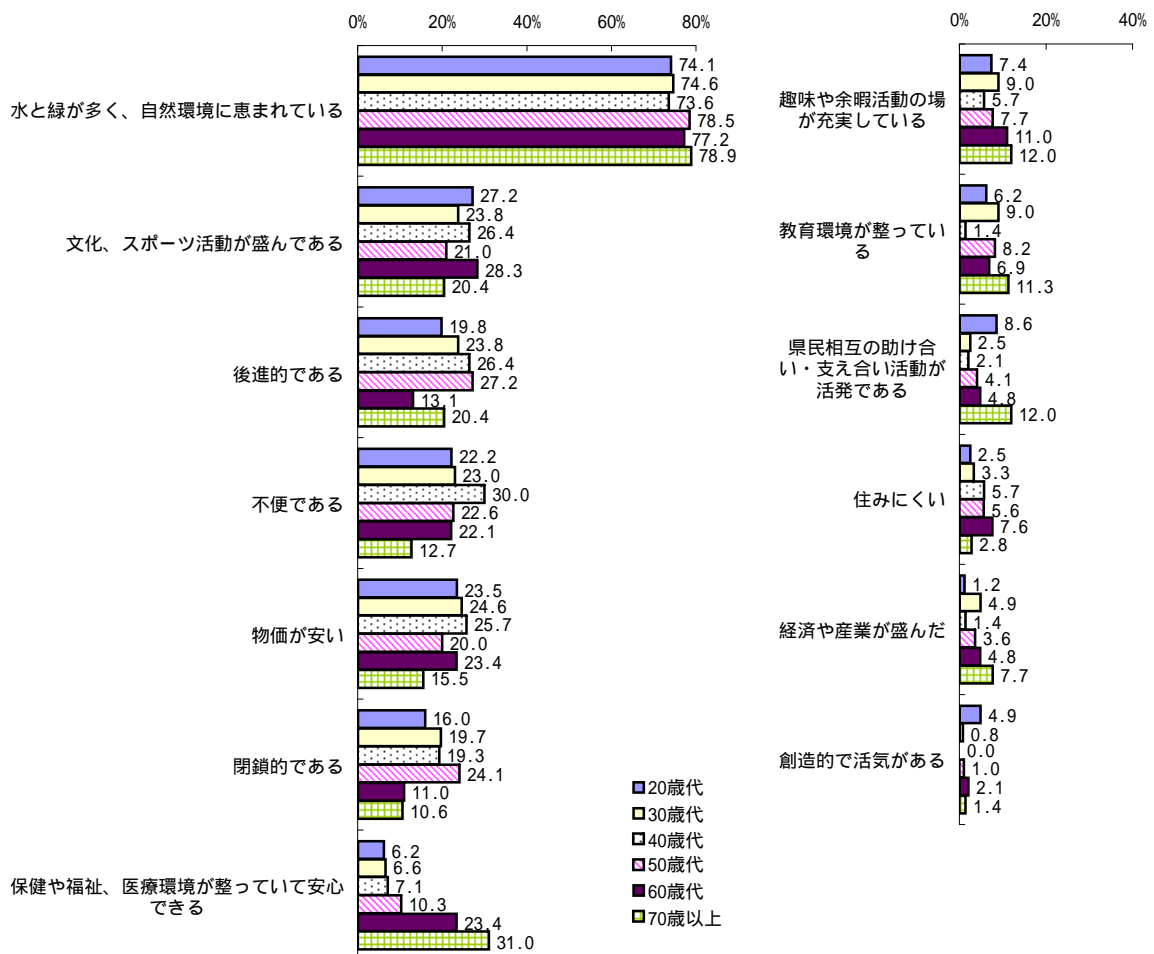
また、「文化・スポーツ活動が盛んである」、「後進的である」、「閉鎖的である」、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合は男性で、「不便である」、「物価が安い」、「趣味や余暇活動の場が充実している」と答えた人の割合は女性で高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年齢層においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に高い。

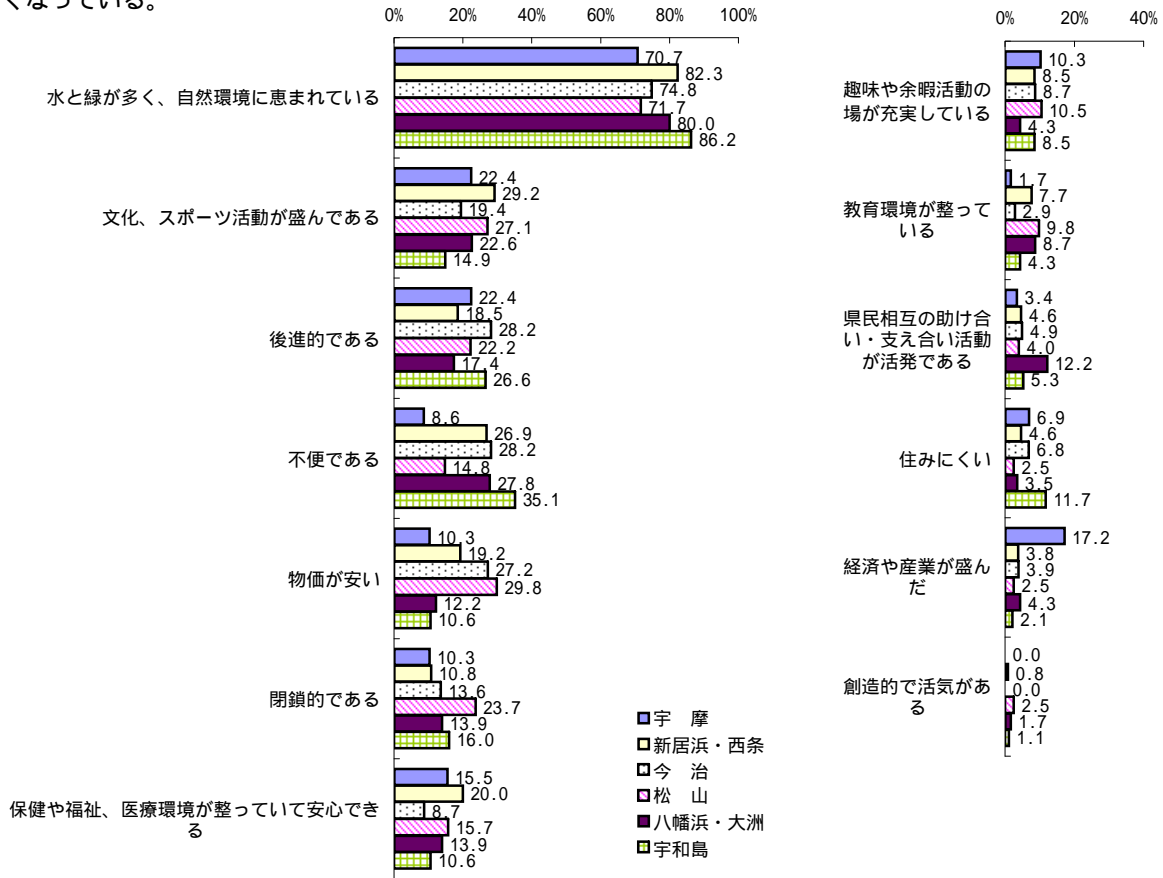
また、「文化・スポーツ活動が盛んである」は60歳代で、「後進的である」、「閉鎖的である」は50歳代で、「不便である」は40歳代で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は70歳以上で、他の年齢層に比べて高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、いずれの生活圏域においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も高くなっている。

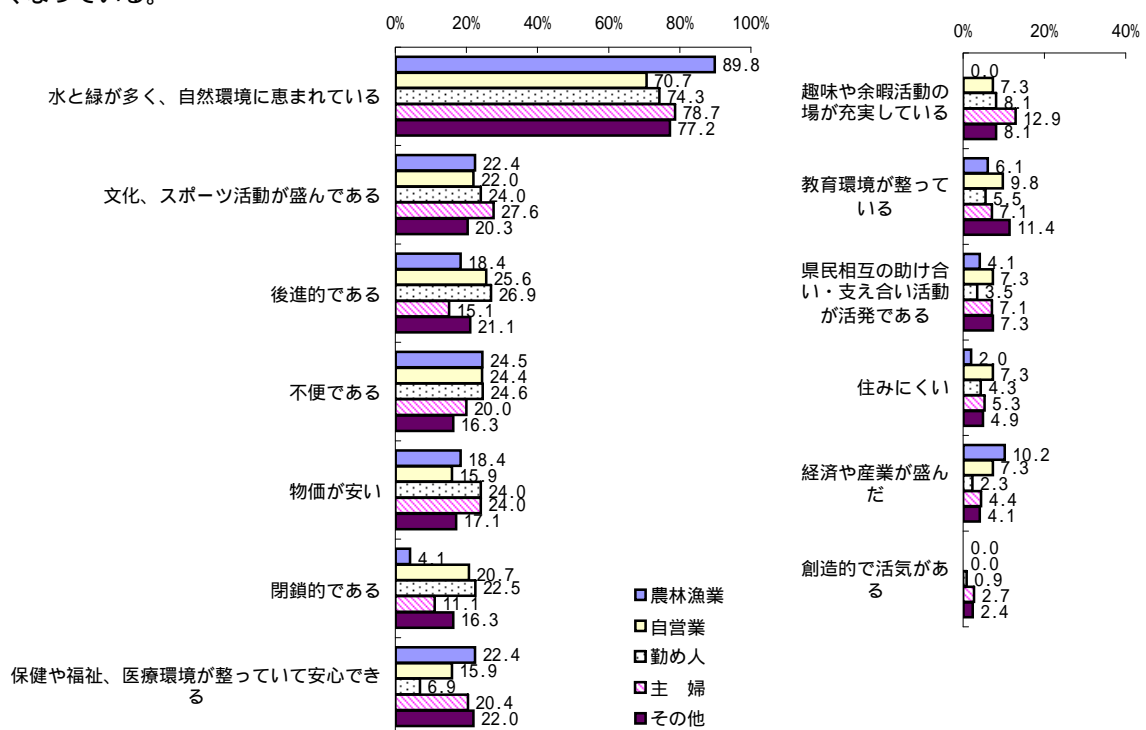
また、「文化、スポーツ活動が盛んである」は新居浜・西条圏域で、「後進的である」は今治圏域で、「物価が安い」、「閉鎖的である」は松山圏域で、「不便である」は宇和島圏域で他の生活圏域に比べて高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、いずれの職業においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に高くなっている。

また、「文化・スポーツ活動が盛んである」は主婦で、「後進的である」、「閉鎖的である」は勤め人で、「物価が安い」は勤め人、主婦で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は農林漁業で高くなっている。



問23 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

また、今後、愛媛県のあるべき姿について、あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

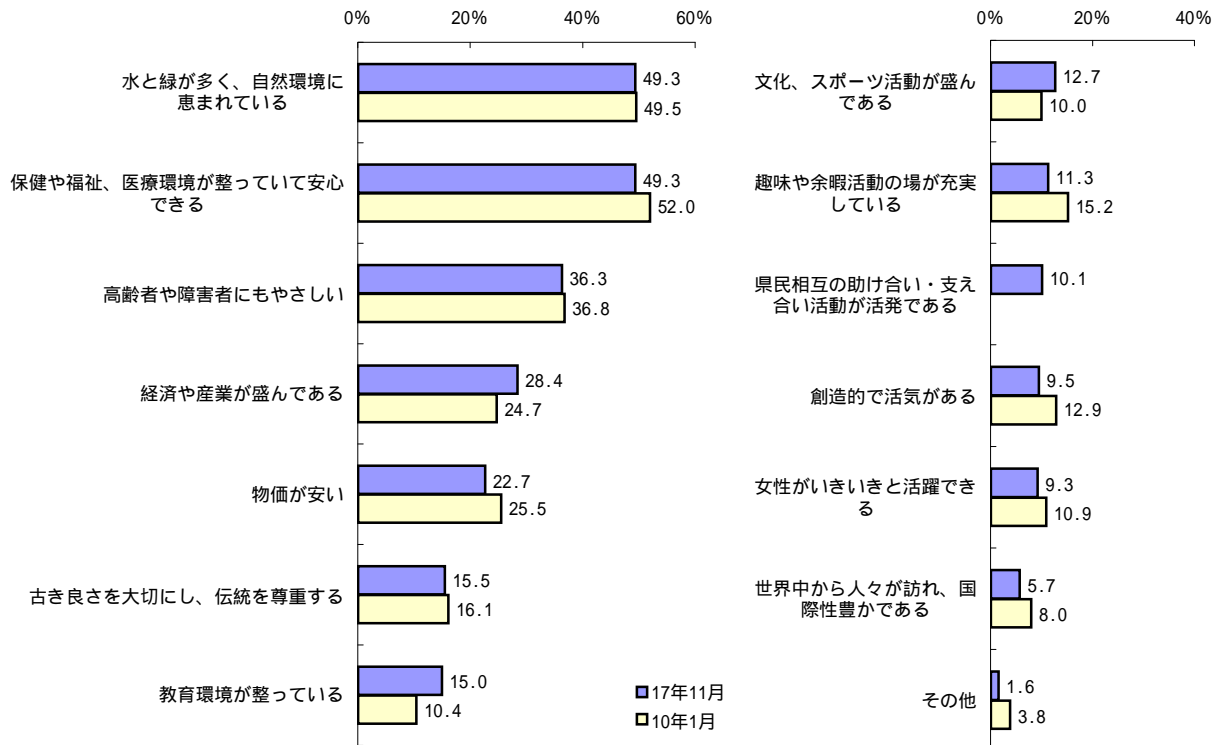
(複数回答) (%)

1	水と緑が多く、自然環境に恵まれている	49.3
2	物価が安い	22.7
3	経済や産業が盛んである	28.4
4	教育環境が整っている	15.0
5	保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる	49.3
6	趣味や余暇活動の場が充実している	11.3
7	文化、スポーツ活動が盛んである	12.7
8	創造的で活気がある	9.5
9	県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である。	10.1
10	古き良さを大切にし、伝統を尊重する	15.5
11	世界中から人々が訪れ、国際性豊かである	5.7
12	高齢者や障害者にもやさしい	36.3
13	女性がいきいきと活躍できる	9.3
14	その他	1.6

(「9 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である。」は今回調査から)

愛媛県の今後あるべき姿のイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」(ともに49.3%)と答えた人の割合が最も高く、以下「高齢者や障害者にもやさしい」(36.3%)などの順となっており、美しい自然に囲まれ、快適で、福祉の充実した住みよい愛媛をイメージしている人が多いことがうかがえる。

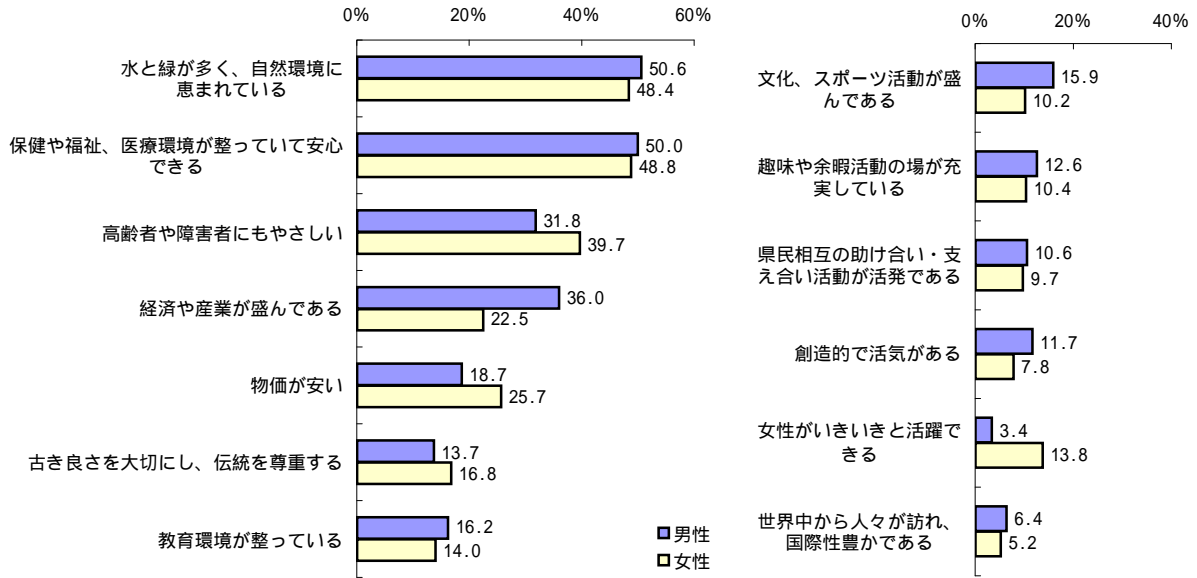
7年前の調査と比較すると、「経済や産業が盛んである」、「教育環境が整っている」、「文化、スポーツ活動が盛んである」と答えた人の割合が増加し、それ以外は減少している。



【性別】

性別にみると、男性では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が、女性は「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が最も高くなっている。

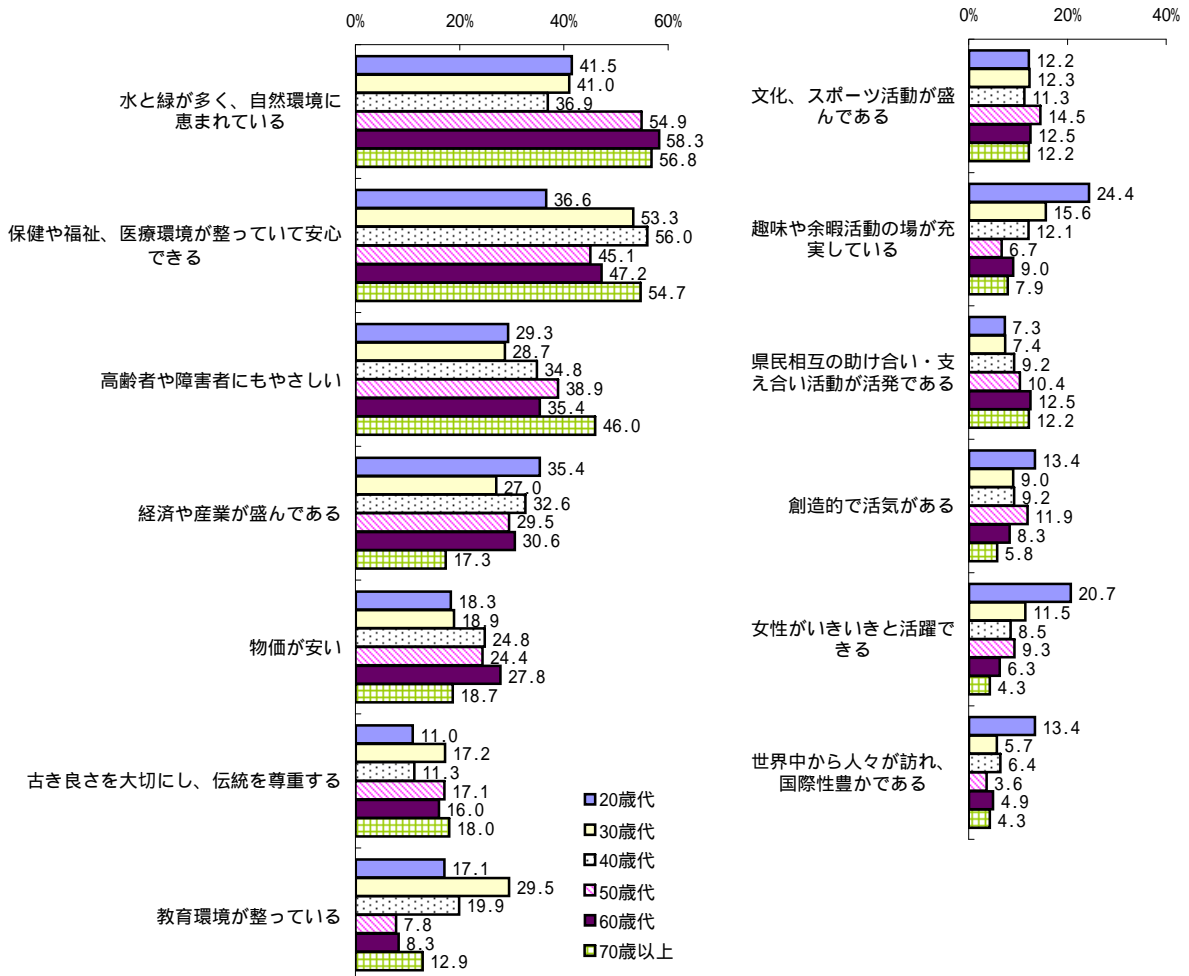
また、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」、「経済や産業が盛んである」と答えた人の割合は男性の方が、「高齢者や障害者にもやさしい」、「物価が安い」、「古き良さを大切に、伝統を尊重する」と答えた人の割合は、女性の方が高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が、30歳代、40歳代では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が最も高くなっている。

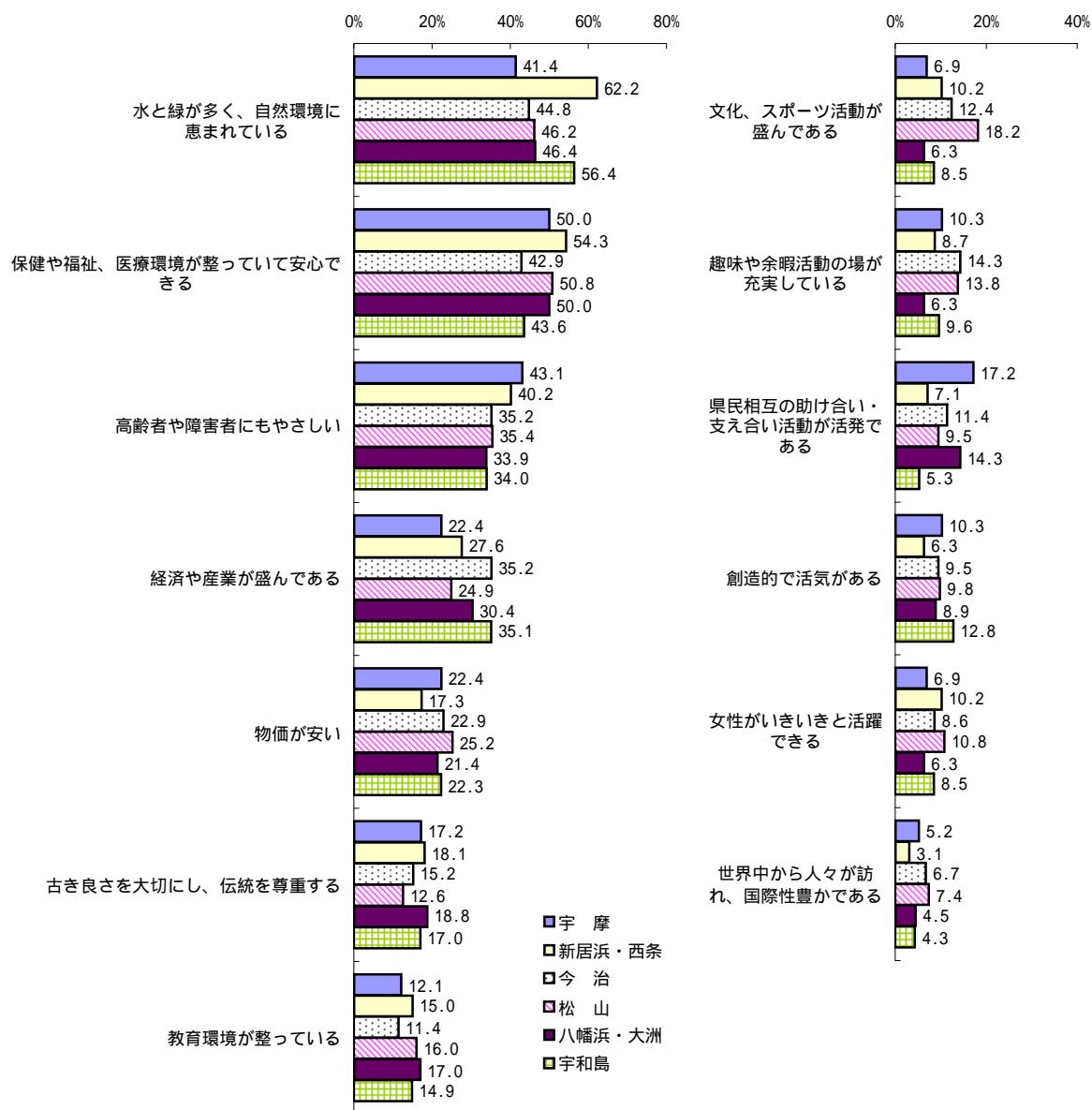
また、「趣味や余暇活動の場が充実している」は20歳代で、「教育環境が整っている」は30歳代で他の年齢層に比較して高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域、松山圏域、八幡浜・大洲圏域では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、新居浜・西条圏域、今治圏域、宇和島圏域では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も高くなっている。

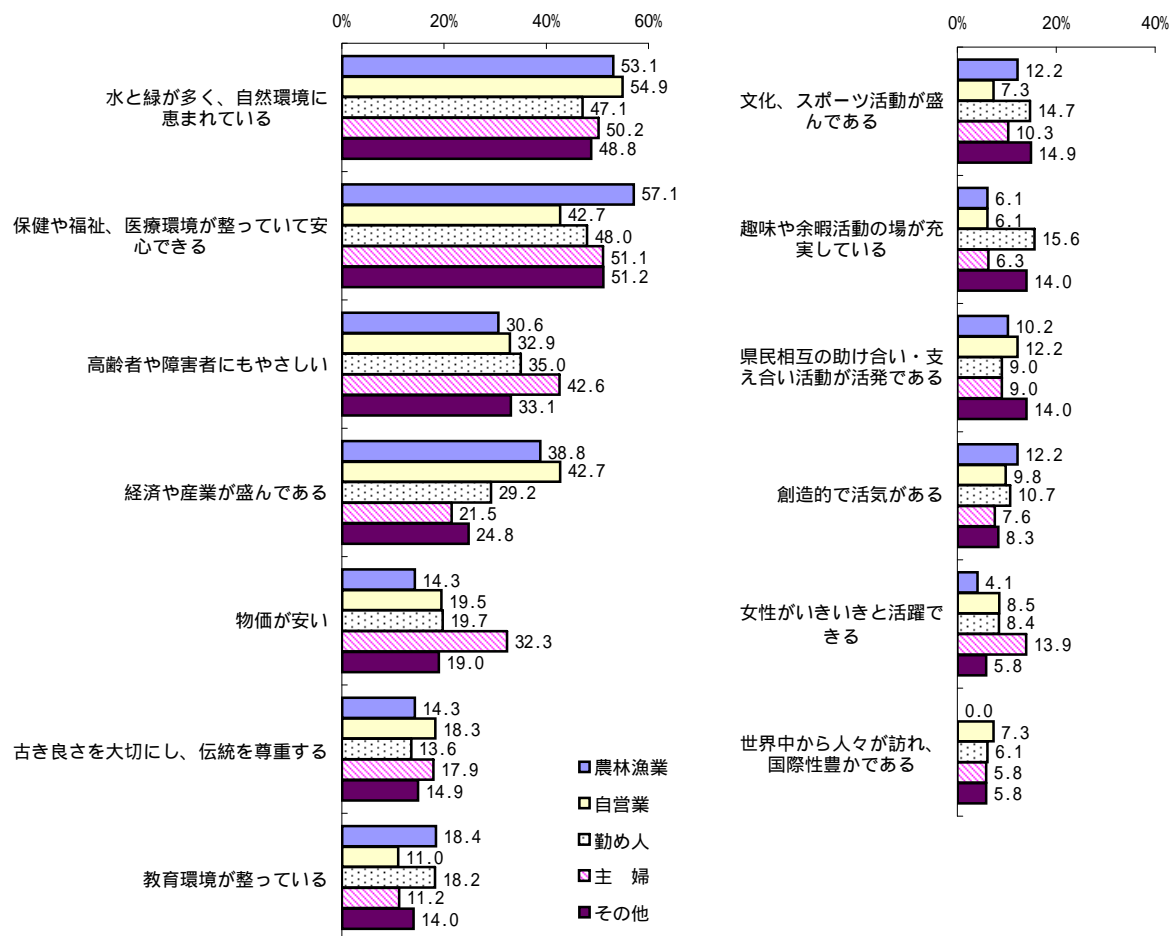
また、「高齢者や障害者にもやさしい」は宇摩圏域で、「経済や産業が盛んである」は今治圏域、宇和島圏域で、他の圏域に比べて高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、自営業を除く全ての職種で「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、自営業では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」が最も高くなっている。

また、「高齢者や障害者にもやさしい」は主婦で、「経済や産業が盛んである」、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は自営業で、「趣味や余暇活動の場が充実している」は勤め人で他の職業と比較して高くなっている。



4 県政への要望

問24 県政への要望

今後県政を進めていくうえで、あなたが特に力を入れてほしい施策は何ですか。次の(A)、(B)、(C)の中から一つずつ選んで番号を で囲んでください。

(%)

(A) 産 業

1	農林業の振興	14.0
2	水産業の振興	2.0
3	商工業の振興	7.1
4	中小企業対策	15.7
5	観光開発	9.4
6	雇用対策	37.9
7	道路整備	13.9

(B) 生活環境

1	社会福祉の充実	28.2
2	医療、保健衛生機能の拡充	24.7
3	ボランティア活動の活性化	1.0
4	物価・消費者保護対策	20.8
5	公害防止対策、自然環境の保全	10.5
6	上・下水道、ゴミ処理施設の整備	7.2
7	交通安全対策	3.5
8	消防、防災対策	4.0

(C) 教 育

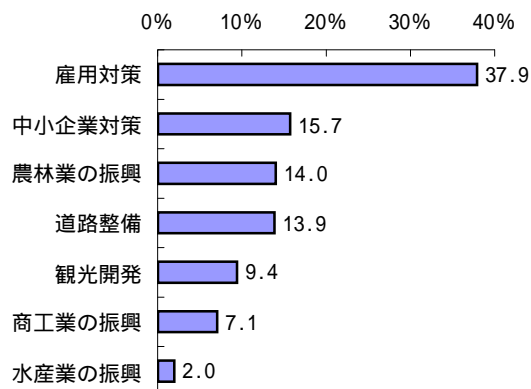
1	学校教育の充実	39.9
2	家庭教育の充実	14.7
3	社会教育の充実	26.5
4	芸術、文化の振興	10.9
5	スポーツ、レクリエーション活動の助長	8.0

(「(B)3 ボランティア活動の活性化」は今回調査から)

今後、県政に望む施策について、(A)産業、(B)生活環境、(C)教育の3点に分けて質問した結果は、次のとおりである。

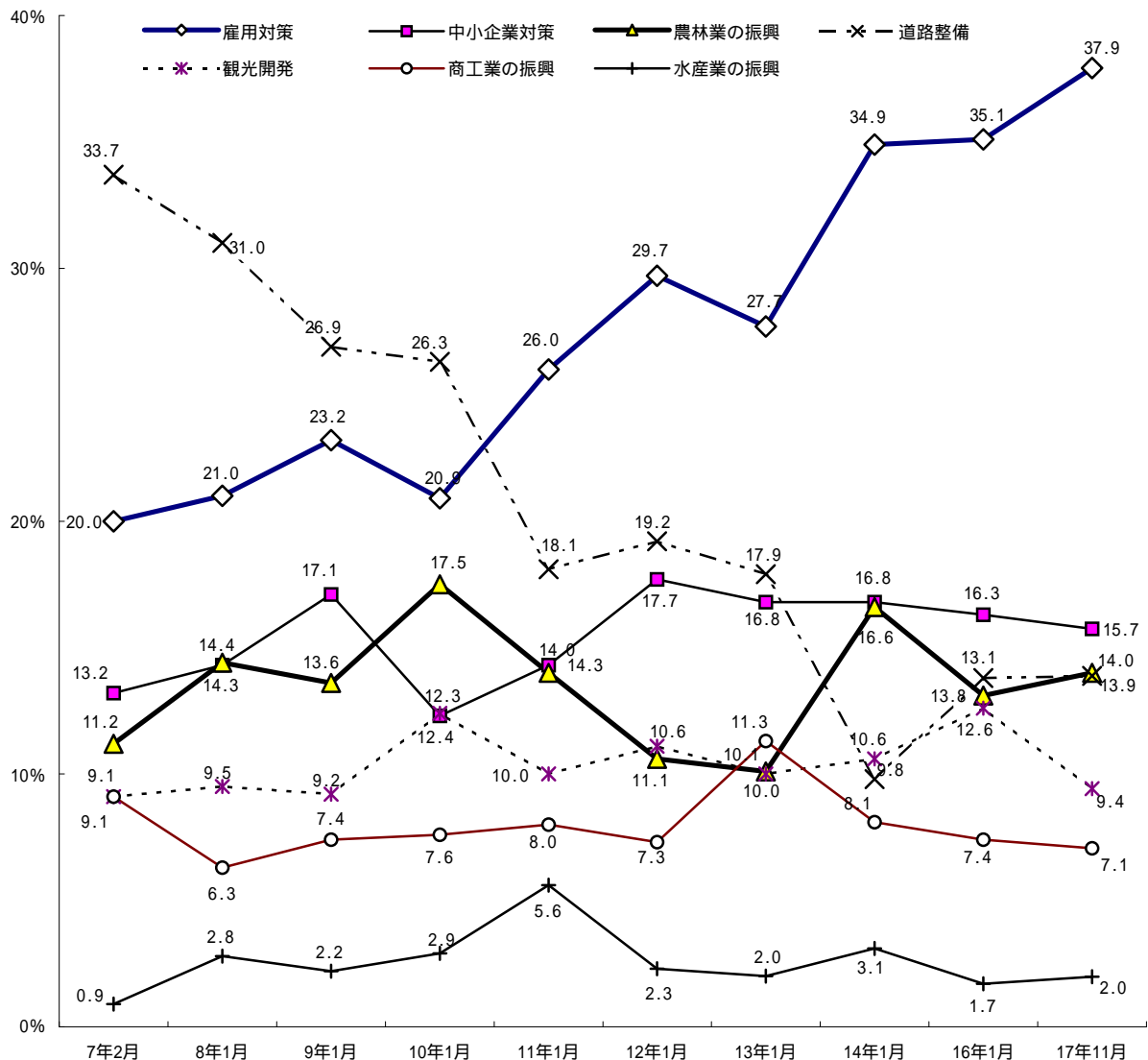
《産業面》

産業面で特に力を入れてほしいこととしては、「雇用対策」と答えた人の割合が37.9%と特に高く、以下「中小企業対策」(15.7%)、「農林業の振興」(14.0%)、「道路整備」(13.9%)、などの順となっている。



【経年変化】

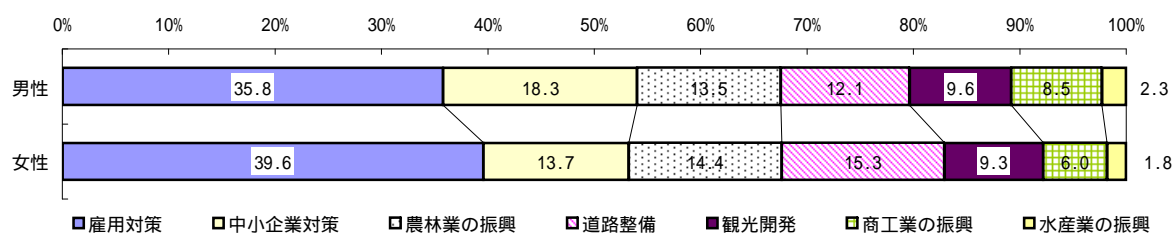
経年変化をみると、平成7年調査以降「雇用対策」と答えた人の割合が大きく増加する一方、「道路整備」と答えた人の割合は大きく減少している。



【性別】

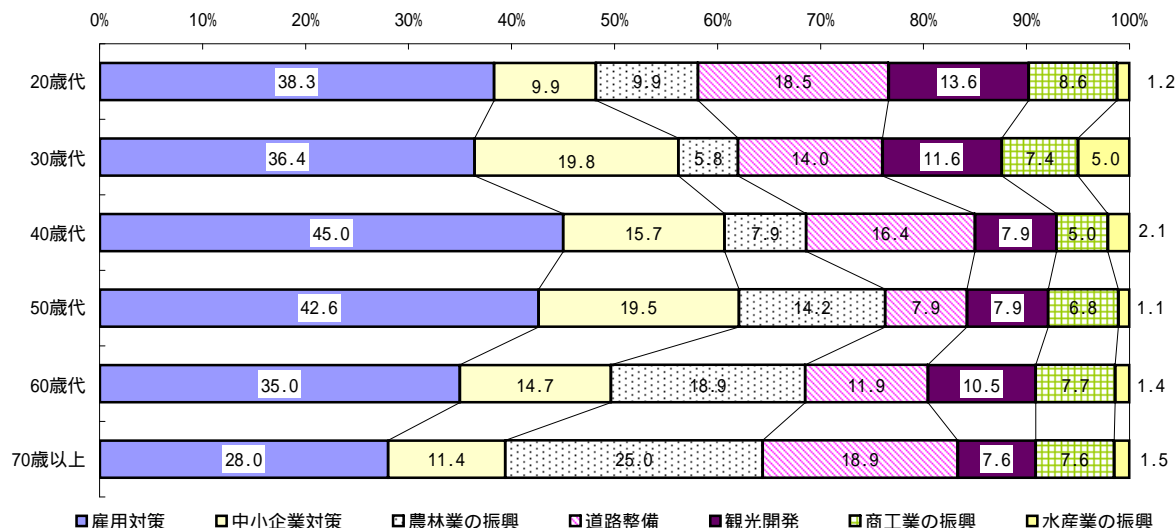
性別にみると、「雇用対策」と答えた人の割合が男性（35.8%）、女性（39.6%）ともに最も高くなっているが、女性の方が3.8ポイント多くなっている。

また、「中小企業対策」（4.6ポイント）、「商工業の振興」（2.5ポイント）は男性の方が高く、「道路整備」（3.2ポイント）、「農林業の振興」（0.9ポイント）は女性の方が高くなっている。



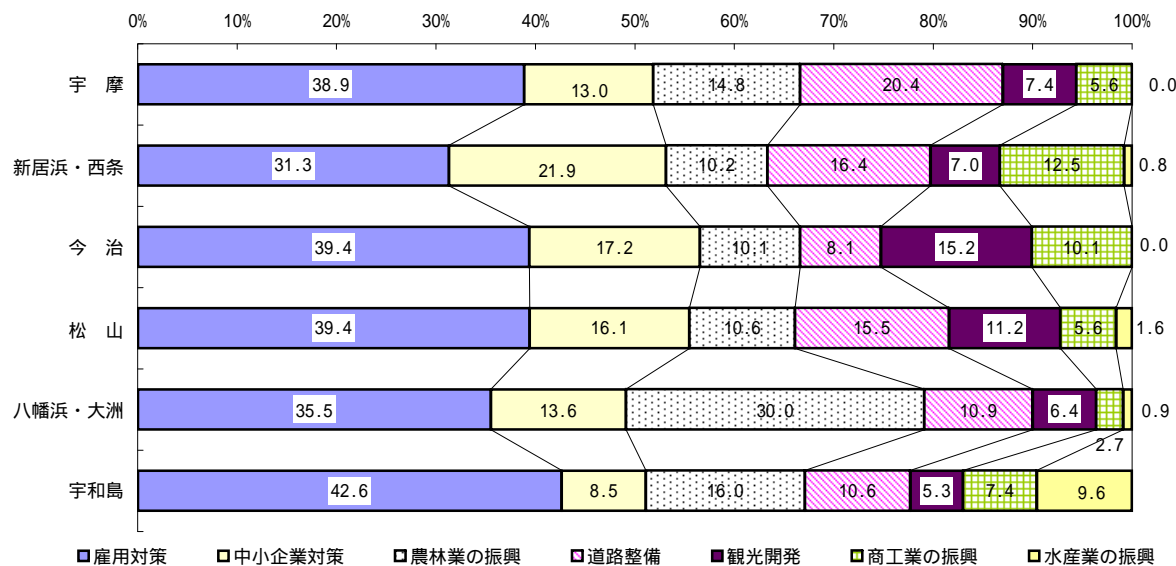
【年齢別】

年齢別にみると、すべての年齢層で「雇用対策」と答えた人の割合が、最も高くなっている。
 また、「中小企業対策」と答えた人の割合は30歳代で、「農林業の振興」、「道路整備」は70歳以上で、「観光開発」、「商工業の振興」は20歳代で他の年齢層と比較して高くなっている。



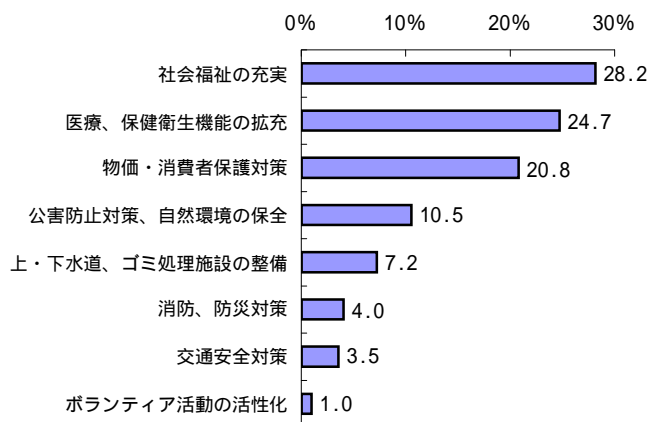
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「雇用対策」と答えた人の割合は全ての圏域で最も高くなっている。
 また、「中小企業対策」、「商工業の振興」は新居浜・西条圏域で、「農林業の振興」は八幡浜・大洲圏域で、「道路整備」は宇摩圏域で、「観光開発」は今治圏域で他の生活圏域と比較して高くなっている。



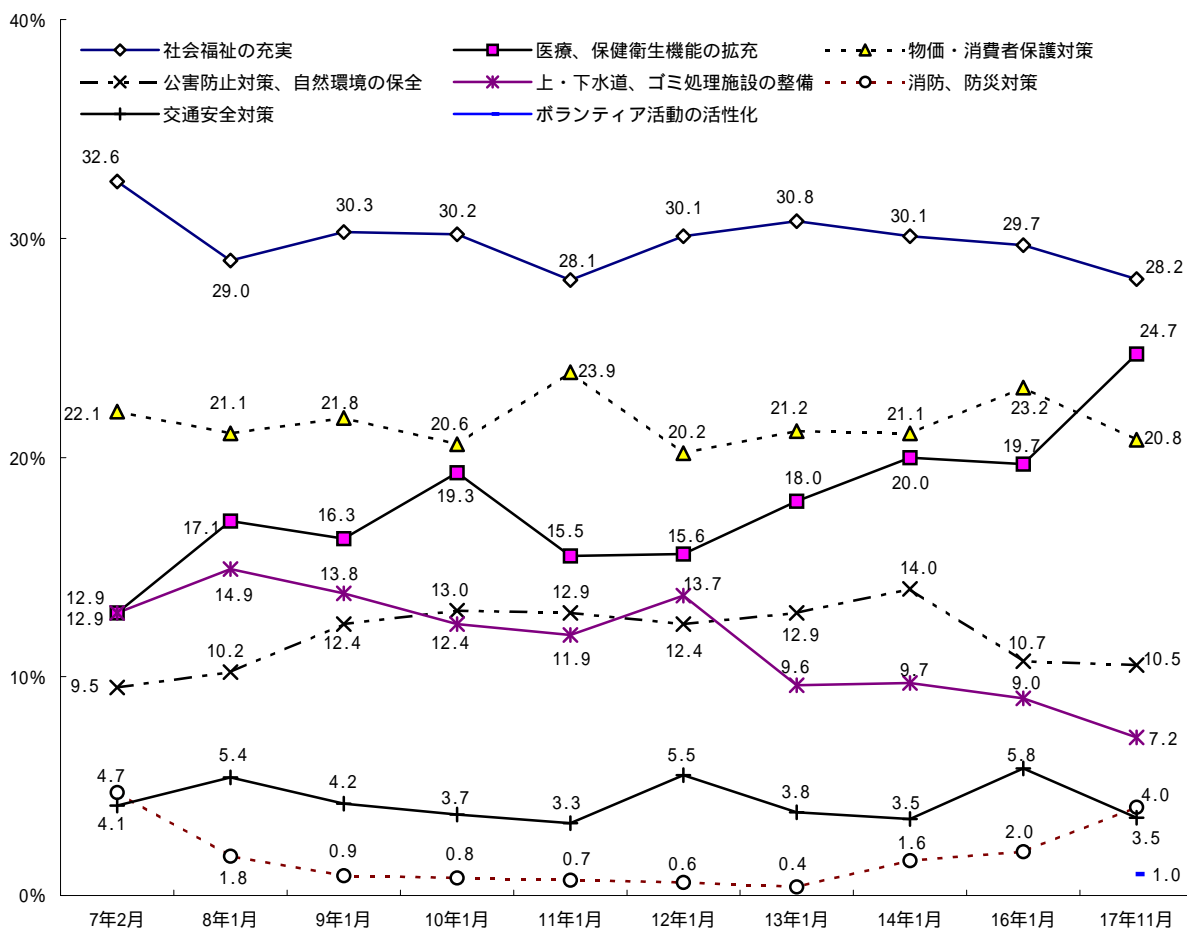
《生活環境面》

生活環境面で特に力を入れてほしいこととしては、「社会福祉の充実」と答えた人の割合が28.2%と最も高く、以下「医療、保健衛生機能の拡充」（24.7%）、「物価、消費者保護対策」（20.8%）、「公害防止対策、自然環境の保全」（10.5%）などの順となっている。



【経年変化】

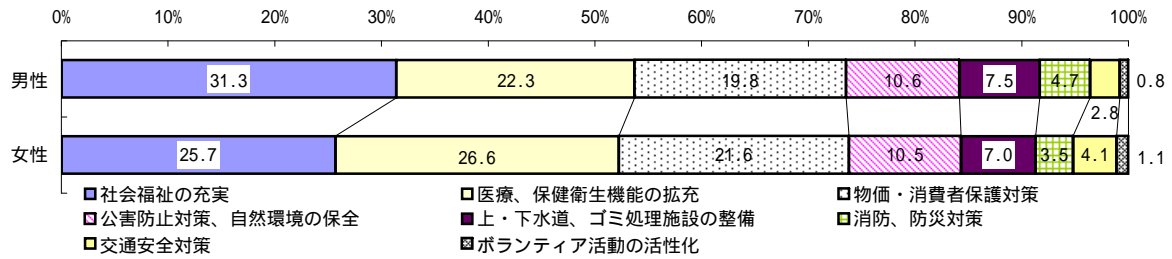
経年変化をみると、平成7年調査以降「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が大きく増加する一方で、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」と答えた人の割合は減少している。



【性別】

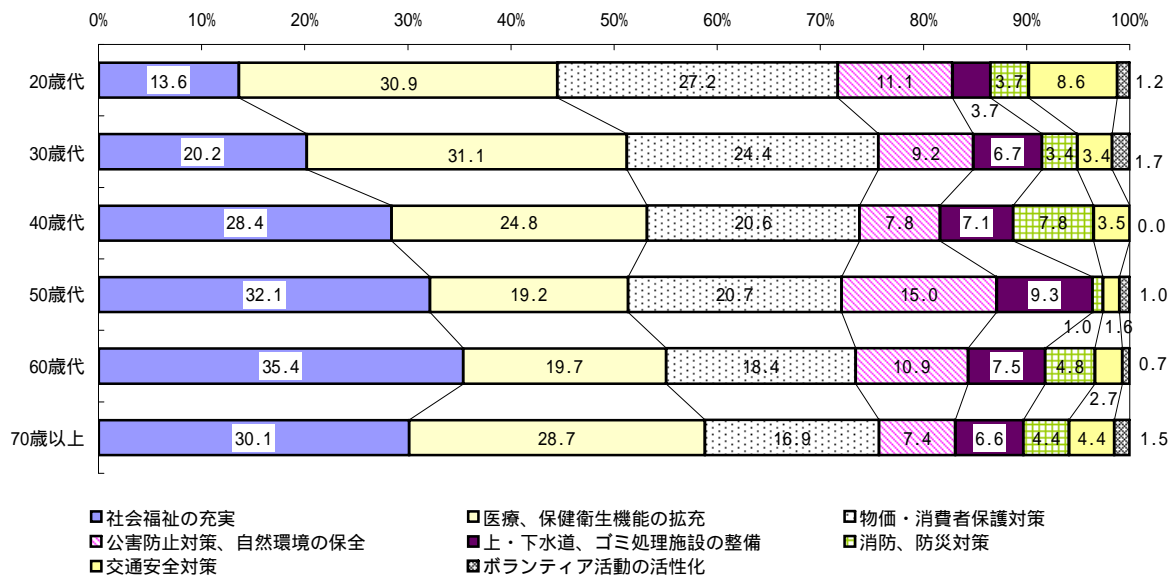
性別にみると、男性では「社会福祉の充実」（31.3%）と答えた人の割合が高く、女性では「医療、保健衛生機能の拡充」（26.6%）が最も高い。

「物価・消費者保護対策」と答えた人の割合は女性が男性より高く、また、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」は男性の方が女性より高くなっている。



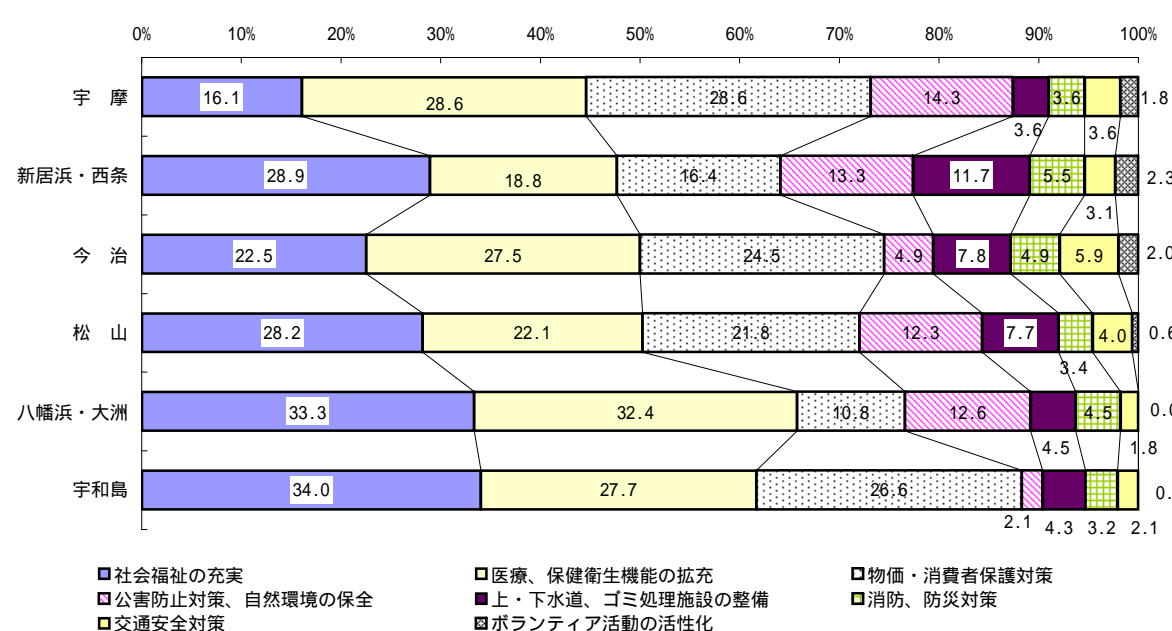
【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が最も高く、それ以外の年代では「社会福祉の充実」が最も高くなっている。



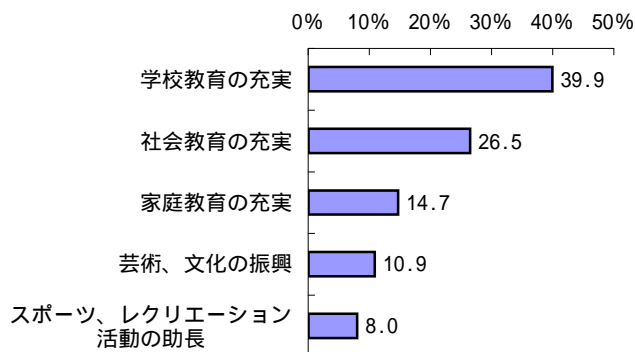
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、新居浜・西条、松山、八幡浜・大洲、宇和島圏域では「社会福祉の充実」と答えた人の割合が高く、今治圏域では「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が高い。また、宇摩圏域では「医療、保健衛生機能の拡充」と「物価・消費者保護対策」が同率となっている。



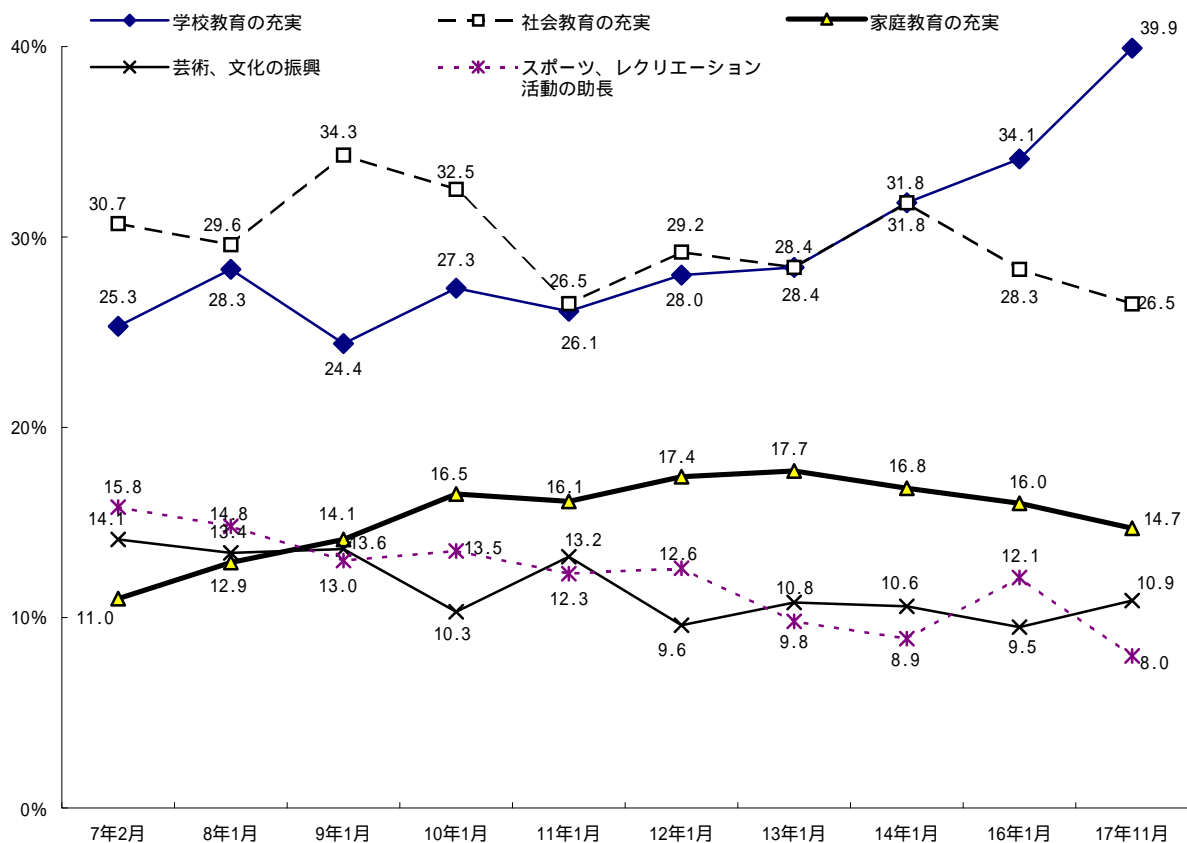
【教育面】

教育面で特に力を入れてほしいこととしては、「学校教育の充実」と答えた人の割合が39.9%と最も高く、以下「社会教育の充実」（26.5%）、「家庭教育の充実」（14.7%）、「芸術、文化の振興」（10.9%）「スポーツ、レクリエーション活動の助長」（8.0%）の順となっている。



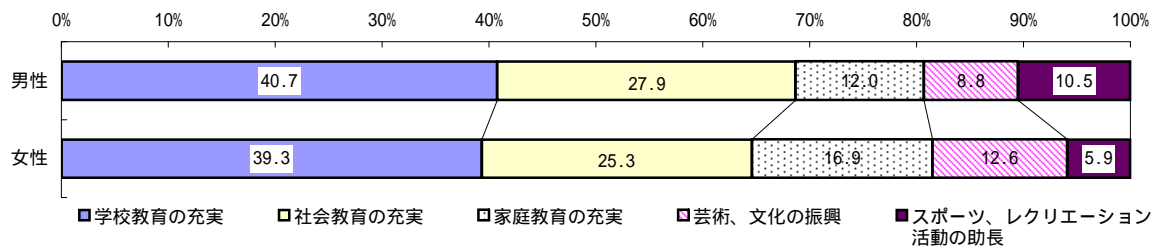
【経年変化】

経年変化をみると、平成7年調査以降、「学校教育の充実」と答えた人の割合が大きく増加している。



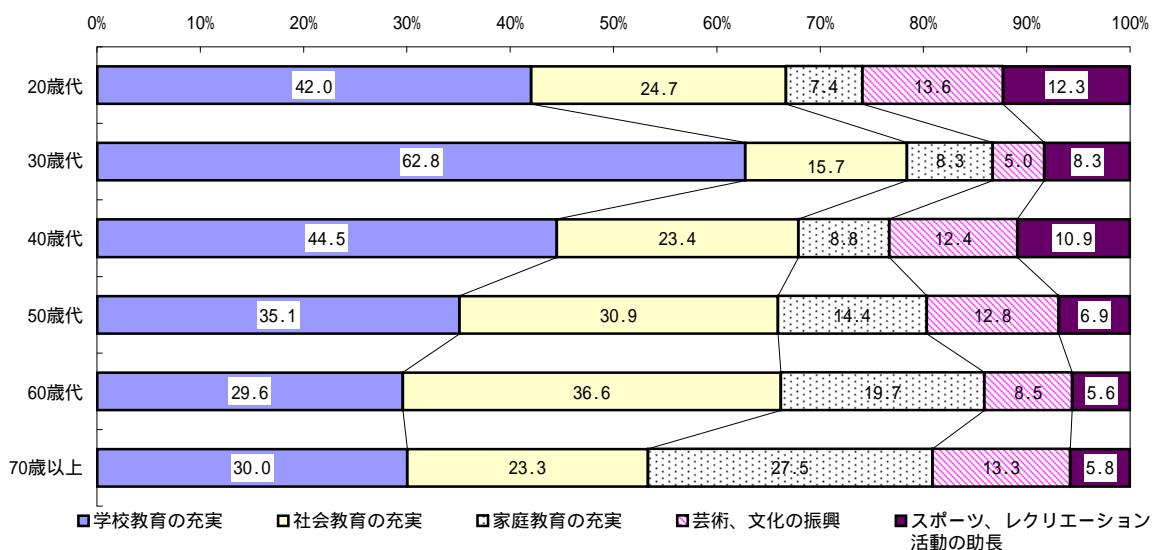
【性別】

性別にみると、「学校教育の充実」、「社会教育の充実」、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」と答えた人の割合が女性より男性で高く、「家庭教育の充実」、「芸術、文化の振興」は男性より女性で高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、60歳代では「社会教育の充実」と答えた人の割合が高く、それ以外の年代では「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も高い。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、すべての圏域で「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も高く、宇摩圏域を除く全ての圏域で「社会教育の充実」が二番目に高くなっている。

